

・10月27日(日)、第3回清水町Kids Bike Cup2024（ランニングバイク大会）を開催しました。

ランニングバイクは、小さな子供のバランス感覚やスポーツに必要な様々な身体能力を高めることに効果的とされており、幼児が夢中になれる魅力的な乗り物です。

今大会では、3歳から6歳まで約100人の参加者が年齢別の各クラスの頂点を目指し、熱いレースを繰り広げました。日頃から本格的にトレーニングをしている子も初めてチャレンジした子も、みんな全力で一生懸命がんばりました。

開催にあたり、準備から運営まで御尽力いただきました、町スポーツ推進委員と健康づくり推進委員の皆様をはじめ、モルック大会を主催した町スポーツ協会様に、心から感謝を申し上げます。



・10月26日(土)、令和6年度広聴事業「車座懇談会」を開催しました。

この懇談会は、協働・協創のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化を目的に、各区が抱えている課題や思いを直接聞き、膝を突き合わせて率直に対話をする機会として実施しました。

第4回目となった本懇談会では、伏見区、新宿区および玉川区の皆さまと、自治会組織の今後のあり方や防災・水害対策などについて意見交換を行いました。



・10月19日(土)、令和6年度広聴事業「車座懇談会」を開催しました。

この懇談会は、協働・協創のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化を目的に、各区が抱えている課題や思いを直接聞き、膝を突き合わせて率直に対話をする機会として実施しました。

第3回目となった本懇談会では、堂庭区、戸畑区、的場区および湯川区の皆さまと、子ども会活動の今後のあり方や自治会加入者の減少、地域の防災・水害対策などについて意見交換を行いました。



・10月18日(金)、明治安田生命保険相互会社沼津支社様から、豊かな地域社会づくりに貢献する「地元の元気プロジェクト」に基づくご寄附403,900円をいただきました。

このご寄附は、社員の皆さま方が出身地などを指定して行う任意の募金に、同社からの拠出金を上乗せした金額を「私の地元応援募金」として全国の自治体に分配いただいているもので、本町には令和2年度から総額200万円以上のご寄附をいただいております。

いただいた寄附金は、まち歩きアプリ関連事業に活用させていただき、笑街健幸のまちづくりの更なる前進を目指してまいります。



・10月17日(木)、狩野川流域の市町長により定期的実施している狩野川改修促進期成同盟会（長泉町、沼津市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、三島市、清水町）における令和6年度の要望活動に参加しました。

午前には地元の国土交通省沼津河川国道事務所 辛嶋所長を、午後には名古屋市の国土交通省中部地方整備局 佐藤局長を訪問しました。

本町からは、狩野川・黄瀬川の河川改修事業のお礼と引き続きの整備促進をお願いさせていただきました。



・10月16日(水)、令和6年度中部地方治水大会に出席しました。

本大会は、中部地方（長野県、岐阜県、三重県、愛知県、静岡県）における国土交通省・中部5県の治水関係者および市町村長が集い、近年の激甚化・頻発化する水災害の状況を踏まえ、治水事業の最新の動向等について認識を深め、改めて治水事業の意義や重要性について広く認識を共有することを目的とし、静岡市で開催されました。

大会前の意見交換会では、狩野川および黄瀬川の改修促進、内水氾濫対策のための財源の確保等、国土交通省幹部職員の方々に町の思いを発表させていただきました。

治水大会では、安全で安心な社会を実現すべく大会決議を採択し、静岡大学 岩田特任教授の「想像力の欠如に陥らない防災」をテーマとした記念公演を拝聴しました。

流域治水の考えのもと、狩野川流域全体におけるハード・ソフト両面での対策が求められていることから、本町としましても、積極的に治水事業に取り組んでまいります。





・10月15日(火)、清水町スポーツ特別功労表彰式を開催し、パリ2024パラリンピックの車いすラグビーで金メダルを獲得された若山英史選手（清水町在住）に表彰状と記念品を授与しました。

若山選手は、4大会連続でパラリンピックに出場されており、今大会では、準決勝で世界ランキング1位のオーストラリアを、決勝でアメリカを破り、悲願の金メダルを獲得されました。

若山選手の日々の絶え間ない努力と多くの町民に感動を与えてくださった献身的なプレーに心から敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を期待しております。



・10月15日(火)、令和6年度第2回清水町子ども・子育て会議を開催し、委員の皆さまに委嘱状を交付しました。

本会議は、子ども・子育て支援事業計画の策定や子育て支援施策等について、委員の皆さまから幅広いご意見をいただくことを目的に設置しているものです。

町としましても、誰もが安心して、子どもを生み育てられるまちづくりを目指し、子育て施策に取り組んでまいりますので、委員の皆さまのご協力をお願いいたします。



・10月12日(土)、13日(日)、令和6年度広聴事業として、車座懇談会を開催しました。

この懇談会は、協働・協創のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化を目的に、各区が抱えている課題や思いを直接聞き、膝を突き合わせて率直に対話をする機会として実施しました。

12日は、上徳倉区、中徳倉区、下徳倉区および外原区の皆さまと、自治体活動の今後のあり方や水害時の対策、高齢者生活の支援などについて意見交換を行いました。

また、13日は、長沢区、本長沢区、柿田区、久米田区および八幡区の皆さまと、自治会役員・委員のなり手不足や区内のゴミ出し・不法投棄、道路環境の整備などについて意見交換を行いました。



・10月11日(金)、清水町防火協会創立30周年記念式典に出席しました。

同協会は、平成6年に発足以来、大規模かつ広域的な災害の備えとして、日頃から消防機関と密接な連携を図っており、自助・共助・公助の災害対応力を高めるにあたり、重要な役割を果たしております。

町としましても、町民の皆さまの防災意識の高揚を図り、災害に強いまちづくりを進めてまいりますので、引き続き、会員の皆さまのご支援・ご協力をお願いいたします。



・10月7日(月)、公益社団法人沼津法人会清水支部の皆さまとの意見交換会に出席しました。

意見交換会では、町の災害対策や企業の健康経営の推進、移住・定住の促進、若い世代を対象とした効果的な事業の実施など、多岐にわたるご意見をいただきました。

本意見交換会は、地域の課題解決に向けた貴重な機会であり、共にまちづくりに取り組む場、更なる連携強化を図る場であると考えております。町としましても、皆さまとの協働・協創による持続可能なまちづくりに取り組み、「くらしやすさで未来をともにつくるまち・清水町」の実現を目指してまいります。

